事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	観光施設管理事業					事業通番	4347
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町インフォメーションセンター条例 会津美里町雀林観光休憩所設置条例
事務事業の概要	観光客が快適に利用できるように観光施設（トイレ、休憩所、インフォメーションセンター）の維持管理を適切に行う。
対象（誰、何を）	観光施設の利用者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の増加を図る。
成果の考え方	高田及び本郷インフォメーションセンターの利用者を把握することで、適切な管理やサービス向上の成果と捉え、Aの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	高田、本郷インフォメーションセンター利用者数（前年度（4～3月）入込数実績+5%を目標）	人
B	-	-

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	18,807	17,253	19,778	17,600	18,483
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		741	609		
一般財源	18,807	16,512	19,169	17,600	18,483

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	23,784	26,288	33,421	27,088	27,201
	24,979	31,010	26,002	25,906	26,431
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

（3）活動実績及び成果

活動実績	高田地域内観光トイレ２箇所を週２回、雀林観光休憩所及びトイレと根岸地域内トイレを週１回の清掃、適宜の除草を実施し、快適に利用することができるよう維持管理に努めた。 指定管理者からの利用状況等の報告により、利用人数や修繕等の状況把握に努めた。
成果	高田インフォメーションセンター利用者数は、前年比で7.36%増となった。 本郷インフォメーションセンター利用者数は、前年比で0.27%増となった。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 現在のトイレと休憩所について維持管理を適切に実施し、利用者の利便性向上を目指す。
コストの方向性	現状維持	（理由） 維持管理を適切に実施し、コストを現状維持としつつも利用者の利便性向上は目指す。
今後の方向性	現状維持	（理由） 適切な維持管理により現状を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	観光誘客事業					事業通番	4351
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計	款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費	目	観光費		重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をＰＲし誘客促進を図る。
対象（誰、何を）	観光客
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ることで、観光客がその情報を入手し来訪する。
成果の考え方	A：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：17,000万円 町内の主要な観光施設や宿泊施設への聞き取りにより把握する。 B：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：16,600人 数値は、町内宿泊施設への聞き取りにより把握する。

【成果指標】		単位
A	観光消費額	万円
B	町内施設宿泊者数	人

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	8,809	12,929	18,753	10,480	11,471
国庫支出金		3,985		2,356	3,027
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	8,809	8,944	18,753	8,124	8,444

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	16,720	16,850	16,900	16,950	17,000
	4,680	9,256	7,682	9,821	9,217
B	16,400	16,450	16,500	16,550	16,600
	9,879	12,285	11,379	13,058	11,475

（3）活動実績及び成果

活動実績	①次年度発足の白河奥会津広域連携事業実行委員会（仮称）に向けて、市町村担当者会議を実施し広域観光による誘客体制を構築した。 ②インスタグラム「＃会津美里の日々」の投稿数を増やすためにインスタグラムを使用したフォトコンテストを実施した。 ③フォトブックを作成し、町の魅力発信とふくしまDCのPRを兼ねて県内外に10,000部配布した。 ④町内宿泊施設を対象とした、宿泊割引クーポン事業を実施した。
成果	①次年度に向けて「白河奥会津広域連携事業実行委員会」の発足が決定し効果的な観光誘客に向けた推進体制を構築した。 ②SNSハッシュタグ「＃会津美里の日々」投稿数が1.4万件に増加し認知度向上と魅力発信に繋がった。（前年度;1.2万件） ③JRの協力を得て、県内の主要駅や首都圏各駅でフォトブックを配布し、広域的なPR活動を展開した。 ④「限定宿泊プラン」は、３施設合計で283枚のクーポンが利用され、滞在時間の延長と町内消費の拡大に貢献した。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 会津美里町観光振興計画の施策達成に向けて特産品や観光PRを実施し、観光消費額及び宿泊者数を目指す。
コストの方向性	現状維持	（理由） 既存にある広域連携事業体や情報発信ツール、各種観光事業を展開して成果を目指すためコストは現状維持とする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 町内で開催するイベントや効果的な情報発信、広域連携等による推進体制が整備されている。今後の方向性としては、一つ一つの事業実施の際に訪れる消費者に対して域内消費を促す仕掛け作りや事業主体の意識付けを行う。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	観光対策事業					事業通番	4358
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うとともに、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。 また、町民の健康増進及び町の観光振興を図るため、町内の日帰り温泉施設の利用者が負担すべき利用料金割引額の補助及び、旧高田温泉あやめの湯の廃止に伴い、利用者について、あやめ荘と本郷温泉・新鶴温泉間の無料送迎を行う。
対象（誰、何を）	町民及び観光客
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベントや観光情報を知り、入込客数が増加する。
成果の考え方	①イベント（向羽黒山城まつり、あやめ祭り、せと市、ワインフェス、大俵引き、御田植祭、秋季祭礼）の入込客数を把握することで、観光協会の情報発信等の成果と捉え、Ａの指標を設定する。 ②観光ガイドの実施回数を把握することで、着地型観光の成果と捉え、Ｂの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	イベントの入込数	人
B	観光ガイド実施回数	回

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	320,347	35,273	57,868	63,099	67,029
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		976			
一般財源	320,347	34,297	57,868	63,099	67,029

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	155,000	156,937	158,874	160,811	162,750
	1,000	105,384	136,800	147,000	146,400
B	80	82	84	87	89
	15	40	33	31	35

（3）活動実績及び成果

活動実績	①観光協会に補助金を交付し、「向羽黒山城まつり」「あやめ祭り」「会津美里ワインフェス」「大俵引き」などのイベントを実施した。 ②町内でイベントを開催する11団体（会津本郷せと市実行委員会等）に対し、イベント補助金を交付した。 ③本郷温泉湯陶里と新鶴温泉んだを利用した町民に、利用料の一部助成を行った。 ④旧高田温泉あやめの湯を利用していた方に、本郷温泉湯陶里と新鶴温泉んだに送迎するタクシーを週１回ずつ運行した。
成果	①イベント入込数は146,400人であった。「山城まつり」及び「ワインフェス」は雨天により各300人減となった。 ②町の伝統的な祭りやイベントの確実な維持・継続に寄与した。 ③利用者割引カード登録者が合計6,000名を超え町民の継続的な施設利用の促進に寄与した。(新鶴4,333、本郷1,690) ④旧高田温泉あやめの湯利用者に対し、継続的な利便性の確保と福祉の向上に努めた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 実施している代表的イベントは、PRする上で重要な要素に位置付けされてきている。町民の内発的機運上昇と訪れる観光客に対する情報発信は賑わいを創出する上では必要であるため、入込数を求めていく。
コストの方向性	現状維持	（理由） 現状維持で実施している代表的イベントを継続する。
今後の方向性	現状維持	（理由） 今後の方向性としては、実施する一つ一つのイベントに訪れる消費者に対して「域内消費」を一つの目的にするよう事業主体への意識改革を目指す。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業					事業通番	14393
						開始年度	平成27年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	令和7年度
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計	款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費	目	観光費		重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画 会津美里町観光振興計画アクションプラン
事務事業の概要	令和２年度に、平成27年度策定の会津美里町観光振興計画及び平成28年度作成のアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。
対象（誰、何を）	観光客
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	入込数の増加及び、町内での飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。
成果の考え方	会津美里町後期観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光施設における観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の２つを成果として設定する。 Ａ：主な観光関連施設から入込数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 Ｂ：観光施設における入込客数（寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く）を集計し、消費額の動向を把握する。

【成果指標】		単位
A	一人当たりの観光消費額	円
B	観光施設における入込客数	万人

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	3,117	3,180	1,657	1,758	1,214
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	3,117	3,180	1,657	1,758	1,214

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2,811	2,881	2,951	3,021	3,091
	3,975	2,935	3,084	4,331	4,448
B	5.3	5.3	5.4	5.45	5.5
	1.1	3.2	2.6	2.3	2.1

（3）活動実績及び成果

活動実績	・観光まちづくり推進協議会を4回開催し、第2次観光振興計画を策定した。 ・姉妹都市・友好都市や当町が構成している各種協議会等が主催する県内外のイベントに出店する事業者へ経費の支援を行った。 ・観光施設への入込客数の聞き取りを実施した。
成果	・協議会において、これまでの進捗状況や現状の課題、今後の方向性について協議を重ね、観光振興計画を策定した。 ・県外で開催された3イベントへ出店する2事業者への支援を行い、本町の特産品PRや販路拡大に繋げた。（谷中まつり、ふるさとPRフェスタ、福島SDGｓマルシェ） ・全体の入込数はワイナリーの入込減などにより前年を下回ったが、新鶴温泉(日帰り)の売上増により、１人当たりの観光消費額は前年を上回った。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 会津美里町観光振興計画の施策達成に向けて観光客の受入体制を整備し、それに波及する観光消費額及び観光施設入込数を目指す。
コストの方向性	現状維持	（理由） 設置する会津美里町観光まちづくり推進協議会委員と意見交換をしながら受入体制を整備していくため、現状維持のコストとする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 町内で開催するイベントや効果的な情報発信、広域連携等による推進体制が整備されている。今後の方向性としては、受入体制の一つでもある「域内消費」に向けた取組みを促進する。